Panasonic® 小電力型 ワイヤレス窓ガラス破壊センサー送信器

（パールブラウン）品番 ECD2490A・ECD2490AP/（パールグレー）品番 ECD2490H・ECD2490HP

取扱説明書
施工説明付き

ECD2490A・ECD2490H

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書は大切に保管してください。

●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書をお渡しください。

●万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

●必ずお守りください

⚠警告

必ず守る

- リチウム電池を取りはずした場合は、小さなお子様がリチウム電池を誤って飲まないようにする。
- リチウム電池はお子様の手の届かないところへ置く。
  万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

必ず守る

- リチウム電池は極性に注意して表示通りに入れる。
  極性を間違えると、リチウム電池の破裂や液もれの原因となります。
- 窓の開閉時、指のはさみ込みに注意する。
- 確実に固定する。
  固定に不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。

ご使用前に

●この商品は、受信器と組み合わせて使用し、送信器からの信号により窓ガラスが破壊したことを受信器に知らせる商品です。
なお、この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。

●本システムは人命保持や盗難事故を完全に防ぐものではありません。
あくまでも補助的なシステムです。
万一、本システムの稼動中に人命・財産などに対して損害が生じても弊社は一切の責任は負い兼ねますのでご了承ください。

おことわり

●送信器は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示（㊣マーク）は、その証明マークです。
表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

組み合わせ可能な受信器・中継器

●下記の商品と組み合わせて使用してください。
●ご使用の際にはその商品に付属の説明書を参照してください。

（2008年7月現在）

品　名	品　番
セキュリティ受信器	ECD1101 ECD5101
ワイヤレス中継器	ECD3100

付属品	
警戒中シール……1枚	取扱説明書（本紙）……1枚
リチウム電池（CR2032）……1コ	

設置場所に関するご注意

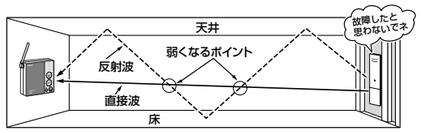
●送信器は屋内で使用してください。また、送信器は防沫形ですが、サウナや長時間雨のかかる可能性がある場所では使用できません。
また湯水の中につけたり、故意にシャワーなどをかけないでください。
多量の水がかかると故障します。

●受信器と送信器の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。（電波が届きにくい場合は、中継器（別売）をご使用になり、動作を確認してください。）

●下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。

- 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- 金属物の壁面に機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- 機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

●到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。



●設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。
設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

使用上のご注意

●本体に衝撃を与えないでください。
落としたり窓を強く開閉すると、誤動作や破損、変形の原因となります。

●−10℃以下、40℃以上の使用環境では電池の性能が低下し、動作しない場合があります。

●受信器と送信器は50cm以上離して使用してください。

●2台以上の送信器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。

●送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため送信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

●受信器・送信器の取付場所を変更する場合、あらかじめ動作確認を行ってください。

●登録や使い方については、受信器に付属の説明書をよくお読みください。

お手入れ方法

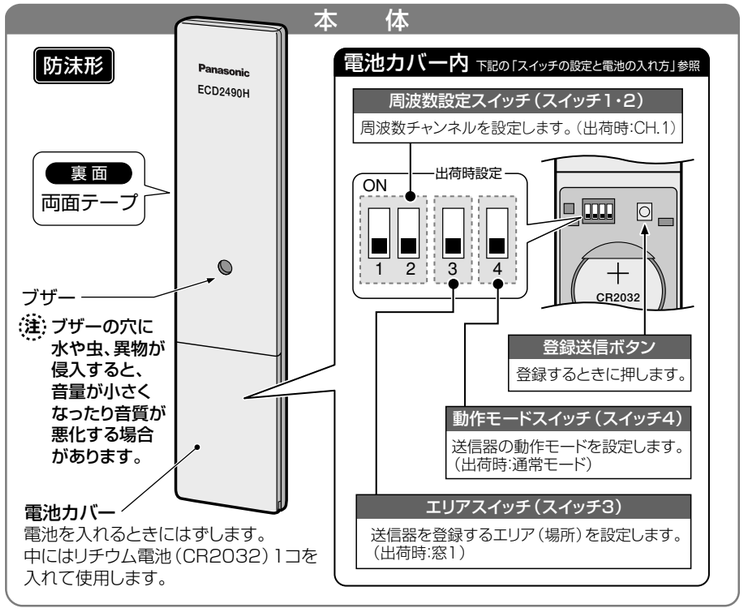
●ふだんのおそうじは・・・
やわらかい布でふき取ってください。

●汚れが目立つときは・・・
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。

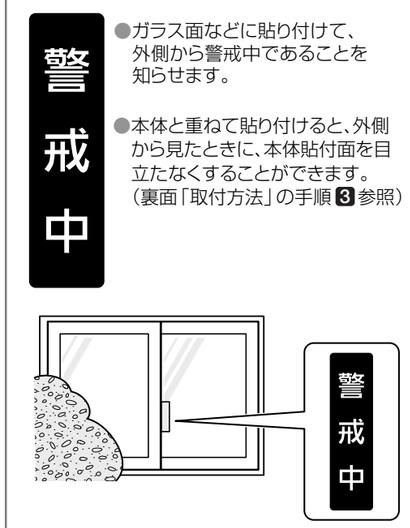
㊟ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

本　体



警戒中シール



仕　様

屋内用

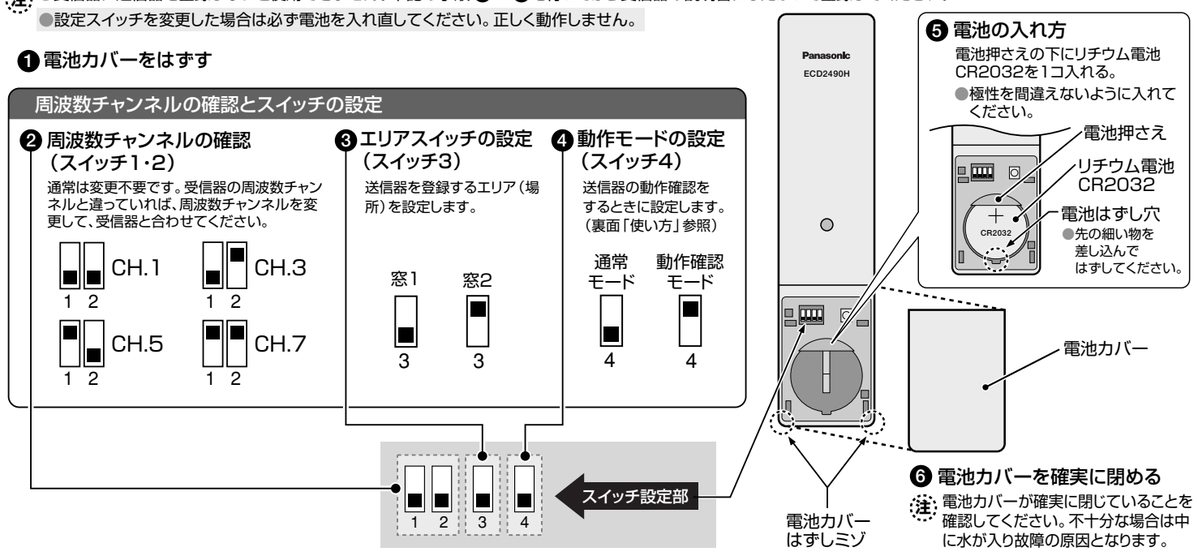
電　源	リチウム電池（CR2032）×1コ
動作電圧範囲	2.2V〜3.5V
消費電流	動作時:35mA以下 待機時:30μA以下
音　量（前方1mにて）	約80dB「ヒュンヒュンヒュン」
使用周波数	CH1(426.7625)MHz CH3(426.7875)MHz CH5(426.8125)MHz CH7(426.8375)MHz の1波 ※周波数設定スイッチで選択

電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離約100m （周囲環境により異なります。）
送信出力	10mW $^{+20\%}_{-50\%}$
電池寿命	約1年
使用周囲温度	−10℃〜+40℃
本体の寸法	高さ:約120mm　幅:約30mm　奥行:約6.2mm
質　量	約22g（電池含まず）

スイッチの設定と電池の入れ方

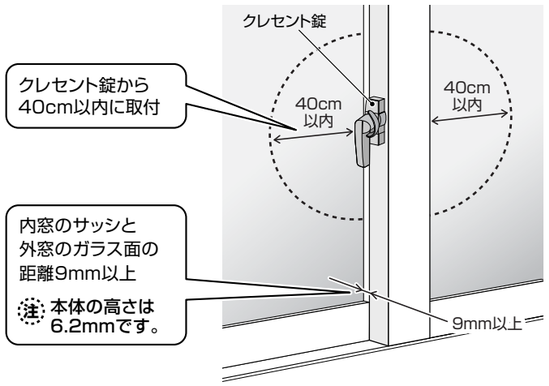
㊟ ●受信器に送信器を登録しないと使用できません。下記の手順 1 〜 3 を行ってから受信器の説明書にしたがって登録してください。
●設定スイッチを変更した場合は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。

❶ 電池カバーをはずす



■送信器本体の取付方法

取り付けできるサッシ・ガラス

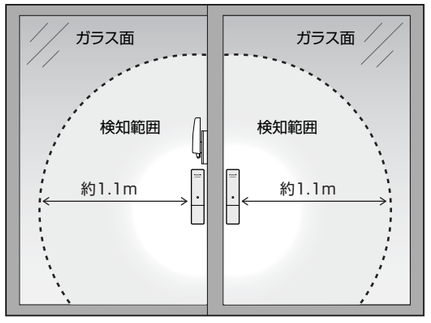


適合ガラス	取付面が平らな下記のガラス
平板ガラス、スリガラス（スリガラスではない面）、型板ガラス、網入りガラス、網入り型板ガラス、強化ガラス	

- 表面に大きな凹凸のある型板ガラスの場合は、感度が低下するため検知できない場合があります。
- 防犯シート、断熱シートなどを貼っている場合は検知できません。
- 網入りガラスの網部分にヒビが入っても検知する場合があります。

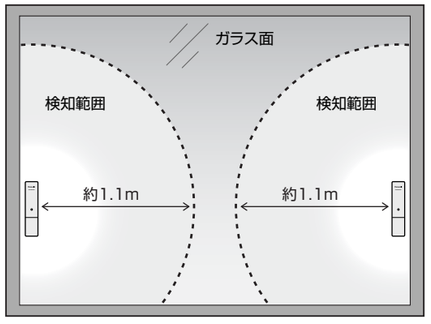
検知範囲

〈引き違い窓の場合〉



- 窓ガラス1枚につき、送信器を1台設置してください。

〈FIX窓の場合〉

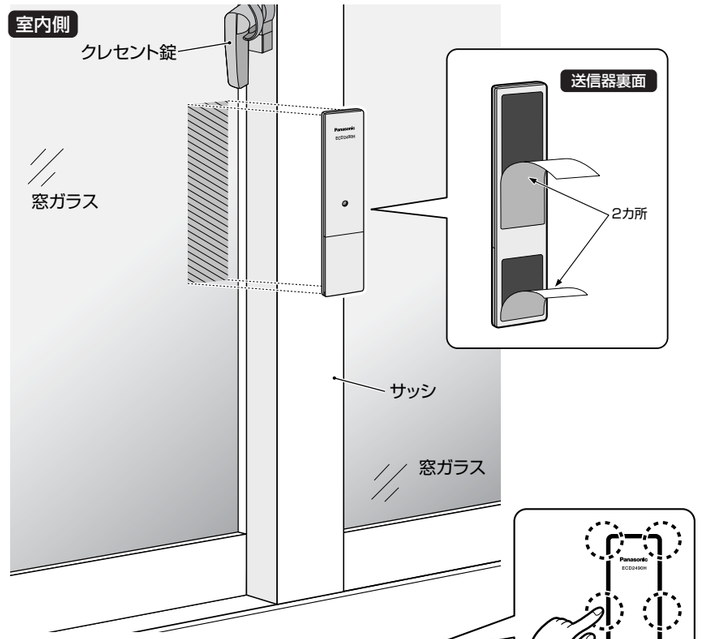


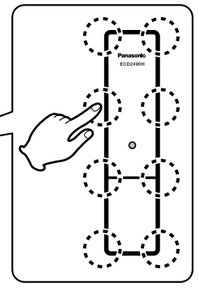
- 窓の大きさによっては送信器を2台取り付けることをおすすめします。

取付手順（取付例:右勝手用）

1 取り付けるガラス面の汚れや水滴をふく。

2 裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。

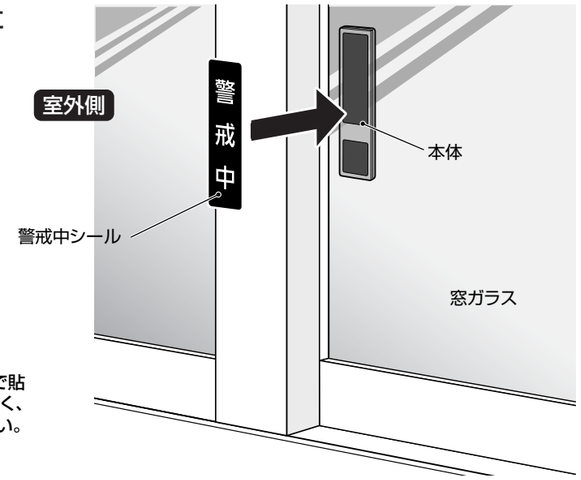




- 貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。

接着時、強く押し付けるには、本体周辺部（8ヵ所程度）を指で押さえていただければ、確実に接着できます。ただし、ガラスが割れないように注意してください。（接着後、取りはずすことは困難です。）

3 室外側から本体をおおうように警戒中シールをガラス越しに貼り付ける。



注 本体の貼付部分がすりガラスなどで貼りにくい場合は、本体の位置ではなく、窓ガラスの透明部分に貼ってください。

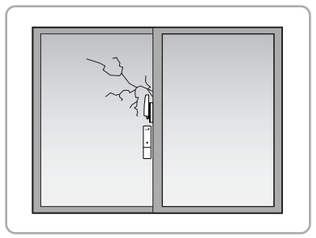
4 取付後の動作確認をする。

1. 窓を開閉して、サッシと本体が接触しないか確認する。
2. 「使い方」の項目にしたがって、正常に動作することを確認する。

注 電池カバーが確実に閉じていることを確認してください。不十分な場合は中に水が入り故障の原因となります。

注
- 貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。また冬期はストーブなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れやぬれていたり、粘着面の温度が低すぎると、粘着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。
- 粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難なので、あらかじめ窓の開閉時に本体が当たらないことを確認してから、貼り付けてください。
- 貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。
- 両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で十分な粘着力になります。（本体に強い衝撃を与えないようにしてください。）
- 一度取りはずした本体を再度貼り付けて使用しないでください。取りはずしたときに無理な力がかかり、感度が悪くなります。

使い方



1 窓ガラスが割れると

2 受信器に電波を送信

注
- 受信器の動作については、受信器側の説明書を参照してください。
- 受信器が非警戒状態であっても送信器から警報音が鳴ります。

- 送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」音が約1分間鳴ります。
- 送信器からの音を止めたり、警報音を鳴らさないようにすることはできません。

〈動作確認モードにして、送信器が正常に動作するか確認できます。〉

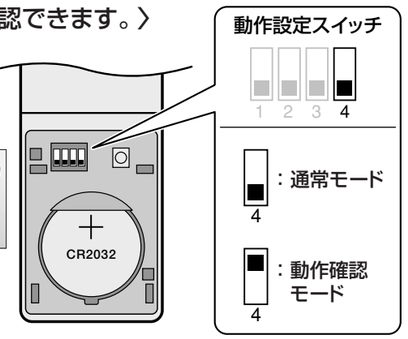
- 電池交換時（1年に1回）に動作確認することをおすすめします。

1 動作モードスイッチを「動作確認モード」にする。

2 窓ガラスをコインなどでたたく。

- 警報音「ヒュンヒュンヒュン」音が約5秒間鳴れば正常です。
- 受信器は防犯警報します。

3 動作モードスイッチを「通常モード」にする。



使用上のご注意

- サッシなどのガタツキにより、サッシと本体が接触する場合は、サッシなどにキズをつけるおそれがあります。窓の建て付けの修理をしてください。
- 送信器は約7時間ごとに自動的に電波を送信しています。電池切れが近くなると受信器に電池切れ信号を送信します。
- 電池を取りはずさないでください。受信器側で通信異常となります。

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部 〒514−8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

8A3 039 00002 M0307-10708DH